

令和4年度 特別の教育課程の実施状況等について

栃木県		
学 校 名	管理機関名	設置者の別
足利市立三重小学校	足利市教育委員会	公立

1. 特別の教育課程の内容

(1) 特別の教育課程の概要

本市全小学校において、平成15年度より取り組んできた英会話学習の内容と外国語活動・外国語科の内容を関連づけた独自の年間指導計画を作成し、「話すこと」「聞くこと」に特化した指導を行うことで、英語によるコミュニケーション能力の育成を図る。

必要となる教育課程の基準の特例については、「教育課程特例校編成の基本方針等について」を参照。

2. 特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

(1) 特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

○計画通り実施できている

- ・一部、計画通り実施できていない
- ・ほとんど計画通り実施できていない

(2) 保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

○実施している

- ・実施していない

(3) 自校における評価

- ・第1学年からの英会話学習の実施が、英語によるコミュニケーションの基礎的な能力の育成につながっている。E A Aの発音を聞き、ゲームなどを通して楽しく英会話の学習をし、コミュニケーション能力の向上が見られる。
- ・休み時間・清掃時間等に、E A Aと自然に英語で挨拶を交わすなど、英語を身近に感じている様子が見られる。
- ・外国語や外国の文化に対する興味・関心が高まっている。外国の方に対する親しみをもち、また、授業を通して外国の行事や文化を知り、興味をもつ児童も見られている。併せて、自分の住むところのよさを再認識するところも見られる。

- ・3年生が、日本の昔話を英語で演じる学習を通して、発話だけでなく、ジェスチャーなどの表現の工夫もして、伝えるための英語を話そうという様子が見られる。

(4) 学校関係者による評価

<児童>

- ・学校評価における児童アンケートで、97%の児童が、英会話学習を楽しみにして、ALTやEAAに親しみを感じながら、交流活動を楽しんでいると回答している。
- ・他の教科と比べ、特に英会話学習の授業においては、進んで友達にインタビューをするという児童も見られる。

<保護者>

- ・学校評価における保護者アンケートで、86%の方が、低学年からの英会話学習の実施に肯定的であり、英会話学習の実施が、英語に慣れ親しむこと、英語によるコミュニケーションの基礎的な能力の育成、外国語や外国の文化に対する興味・関心の高まりにつながると期待している。

3. 実施の効果及び課題

- ・第1学年からの英会話学習の実施は、英語によるコミュニケーションの基礎的な能力の育成に効果的である。簡単な英単語は低学年の児童も話せている。
- ・ゲームなどを通して楽しみながら学習することで、児童の外国語や外国の文化に対する興味・関心が高まっている。
- ・外国籍の児童が転入してきた際、自然と受け入れることができている点も異文化への理解が高まっている効果であると考える。
- ・英語チャレンジDAYの実施により、多くのALT・EAAとふれ合うことができている。児童がさらに積極的に英語でコミュニケーションをとろうとする必要感のある場を設定するなどの実践ができればと考える。

4. 課題の改善のための取組の方向性

- ・これまでのモデル校等の実践例（他校の児童との交流など）を参考に、指導方法の工夫や、タブレット端末を活用した授業など、職員で共有して授業改善を図っていく。